

(社) 地盤工学会 四国支部

平成 20 年度 支部総会 議案書

開催日：平成 20 年 4 月 18 日（金）

会 場：高松テルサ 会議室

（高松市屋島西町 2366-1）

目 次

特別会員表彰

平成 19 年度四国支部賞 受賞業績（者）

第 1 号議案 平成 19 年度 支部事業報告（案）

第 2 号議案 平成 19 年度 支部収支決算報告（案）

第 3 号議案 平成 20 年度 支部役員（案）

第 4 号議案 平成 20 年度 支部事業計画（報告）

第 5 号議案 平成 20 年度 支部収支予算（報告）

【参考資料】平成 20 年度以降の事業予定等

四国支部規定等

特別会員表彰

株式会社奥村組四国支店 2級

以上、1社（25年以上）

平成 19 年度四国支部賞 受賞業績（者）

1) 技術賞（応募数 1 件，受賞数 1 件）

受賞業績名、	受賞者	会員
平成 15 年 12 月 8 日高知県土佐くろしお鉄道稲荷～伊与喜間の大規模斜面崩壊の事前予測と人的被害の防止	高柳朝一（応用地質(株)） 豊留浩人（同上）	正 正

2) 技術開発賞（応募数 4 件，受賞数 3 件）

受賞業績名	受賞者	会員
圧入工法の開発（硬質地盤クリア工法）	(株)技研製作所	特別
住民も観測できるパイプ式斜面監視装置の開発	秋山健一郎（(有)秋山調査設計）	正
高追随セメント安定処理土の開発	久保慶徳（(株)四電技術コンサルタント） 菅原大介（同上）	正 正

3) 研究・論文賞（応募数 4 件，受賞数 3 件）

受賞論文名	受賞論文の著者	会員
浅い基礎の支持力実験による砂斜面地盤の進行性破壊	坪井裕也（徳島大学卒業生） スレン・ソッキアン（日本工営(株)） 望月秋利（徳島大学） 上野勝利（同上） 劉 橋剣（同上） 平尾智廣（同上）	正 国際 国際 国際 国際 正
砂の液状化強度に及ぼす間隙圧縮率の影響	岡村未対（愛媛大学） 曾我恭匡（阪神高速道路(株)）	国際 正
「フライアッシュを主原料とした粒状材料の開発とその特性」に関する一連の研究	岩原廣彦 （(財)四国産業・技術振興センター） 佐々木勝教（四国電力(株)） 川西正明（(株)四電技術コンサルタント） 石井光裕（(株)四国総合研究所）	正 正 正 正

4) 功績賞（応募数 1 件，受賞数 1 件）

受賞業績名	受賞者	会員
四国支部及び高知県地盤工学会の発展に寄与	多賀谷宏三 （(社)高知高専テクノフェロー）	正

第 1 号議案 平成 19 年度 支部事業報告（案）

平成 19 年度 支部事業報告 (案)

1. 総 会、役員会等

(1) 総 会

平成 19 年 4 月 17 日 (金) 高松市 (高松テルサ)

- ① 平成 18 年度 支部事業報告 (案)
- ② 平成 18 年度 支部収支決算報告 (案)、監査報告
- ③ 支部規定改正 (案)
- ④ 平成 19 年度 支部役員 (案)
- ⑤ 平成 19 年度 支部事業計画 (報告)
- ⑥ 平成 19 年度 支部収支予算 (報告)
- ⑦ その他 (平成 19 年度以降の事業予定等)

(2) 評議員会

第 1 回 平成 19 年 4 月 17 日 (金) 高松市 (高松テルサ)

- ① 平成 18 年度 支部事業報告
- ② 平成 18 年度 支部収支決算報告
- ③ 監査報告
- ④ 平成 19 年度 支部役員 (案)
- ⑤ 平成 19 年度 支部事業計画
- ⑥ 平成 19 年度 支部収支予算
- ⑦ その他

臨時 平成 19 年 11 月 27 日 (木) 高松市 (高松テルサ)

- ① 支部表彰制度 (特別表彰, 年次表彰, 技術研究発表会表彰)
- ② 支部 50 周年記念事業の実施に向けて

第 2 回 平成 20 年 2 月 15 日 (金) 高松市 (高松テルサ)

- ① 平成 19 年度 支部事業報告
- ② 平成 19 年度 支部決算見込み報告
- ③ 平成 20 年度 支部役員 (案)
- ④ 平成 20 年度 支部事業計画

- ⑤ 平成 20 年度 支部収支予算
- ⑥ その他

(3) 幹事会

第1回 平成19年6月14日(木) 高松市(香川大学工学部)

- ① 臨時総会 第49回通常総会
- ② 平成19年度事業計画
- ③ 平成19年度支部交付金(前期)の受入れ
- ④ 落石対策研究会の設置について
- ⑤ 四国地域地盤問題研究委員会の規約
- ⑥ 四国支部50周年記念事業の準備について
- ⑦ 四国支部表彰制度の検討について
- ⑧ 平成19年度技術研究発表会および見学会について
- ⑨ 平成22年度全国大会の開催
- ⑩ 土と基礎会告への掲載

第2回 平成19年11月27日(水) 高松市(高松テルサ)

- ① 平成19年度地盤工学会賞の応募
- ② 「土と基礎」支部特集号の応募
- ③ 事業企画賞(第10回)への応募
- ④ 「土と基礎」優秀賞第2次選考委員の選任
- ⑤ 第2期代議員の推薦
- ⑥ 平成19年度技術研究発表会優秀発表賞の受賞者
- ⑦ 支部交付金検討WGでの検討状況
- ⑧ 支部主催学術講演会の開催
- ⑨ 支部主催講習会の開催
- ⑩ 各県地盤工学研究会 前期事業報告及び後期事業計画
- ⑪ 支部表彰制度(特別表彰, 年次表彰, 技術研究発表会表彰)
- ⑫ 支部50周年記念事業の実施に向けて

第3回 平成20年2月15日(金) 高松市(高松テルサ)

- ① 本部会議議事録報告(理事会等)
- ② 本部主催講習会のコース制導入
- ③ 支部交付金検討WGでの検討経過
- ④ 支部表彰制度

- ⑤ 本部理事候補者の推薦
- ⑥ 功労賞受賞候補者の推薦
- ⑦ 平成20年度「土と基礎」読者モニターの推薦
- ⑧ 土と基礎支部特集号
- ⑨ 平成19年度支部事業報告
- ⑩ 平成19年度決算見込み報告
- ⑪ 平成20年度支部役員（案）
- ⑫ 平成20年度支部事業計画（案）
- ⑬ 平成20年度支部予算（案）

2. 支部定例事業

（1）平成19年度地盤工学会四国支部技術研究発表会および現場見学会

主催：地盤工学会四国支部

日時：平成19年10月19日（金）

9：30～17：00 技術研究発表会：香川県県民ホール「玉藻」

17：30～19：30 交流会：香川県県民ホール「ラシレーヌ」

平成19年10月20日（土）

9：30～12：00 技術研究発表会：香川県県民ホール「大会議室」

13：00～17：00 見学会：香川用水調整池建設現場（三豊市山本町）

参加者数：78名

発表件数：55件

研究発表会優秀発表者：

- | | |
|--------|--------------------|
| セッション1 | 藤本 創士（愛媛大学大学院生） |
| | 重松 慎哉（愛媛大学大学院生） |
| セッション2 | 渡邊 誠晶（ランデックス工業(株)） |
| セッション3 | 尾川 七瀬（(株)技研製作所） |
| セッション4 | 石原 行博（(株)技研製作所） |
| セッション5 | 久木留 貴裕（愛媛大学大学院生） |
| セッション6 | 三村 享（香川大学大学院生） |
| セッション7 | 荒木 裕行（香川大学大学院生） |

【技術研究発表会】

<10月19日（金）>

●セッション1 9：30～10：40（8編） 座長：藤川 聡（四電技術コンサルタント）

1) 四国地盤情報DBの構築状況と利活用について

二川義人（四国地方整備局四国技術事務所），○門田健一（四国地方整備局四国技術事務所）

2) 東南海・南海地震に備えた港湾での技術的な取組

高橋吉弘（四国地方整備局高松港湾空港技術調査事務所），○中川恵美子（四国地方整備局高松港湾空港技術調査事務所），平井俊之（ニュージェック）

3) 芸予地震を経験した被災・非被災道路斜面の振動特性

○堂上祐治（愛媛大学工学部生），森伸一郎（愛媛大学大学院），藤本創士（愛媛大学大学院生）

4) 入力地震動と地質からみた 2001 年芸予地震における道路斜面被害分析

○藤本創士（愛媛大学大学院生），森伸一郎（愛媛大学大学院），堂上祐治（愛媛大学工学部生）

5) 新潟県中越地震による山岳道路擁壁の被害と耐震性評価

○重松慎哉（愛媛大学大学院生），岡村未対（愛媛大学大学院）

6) 能登半島地震において家屋被害の集中した門前町道下地区の地盤の S 波速度構造の推定

○門田慶史（愛媛大学工学部生），森伸一郎（愛媛大学大学院），佐伯嘉隆（愛媛大学大学院生），久木留貴裕（愛媛大学大学院生），河野幸一（愛媛大学大学院生）

7) 2007 年能登半島地震において家屋被害の集中した門前町道下地区の地盤速度構造

○佐伯嘉隆（愛媛大学大学院生），森伸一郎（愛媛大学大学院），門田慶史（愛媛大学工学部生）

8) 松山平野のゆれやすさマップ作成ワークショップの報告

須賀幸一（四国地質調査業協会愛媛支部技術委員会，芙蓉コンサルタント），○中村雅夫（同左）

●セッション 2 10:50~12:00 (8 編) 座長：木村一成（ナイバ）

9) 高松空港高盛土断面における耐震性能評価

高野誠紀（国交省四国地方整備局高松港湾・空港整備事務所），○三野真治（同左）

10) 基盤上の盛土の振動増幅特性

○神野邦彦（愛媛建設コンサルタント），西本健一（愛媛建設コンサルタント），森伸一郎（愛媛大学工学部），佐伯嘉隆（愛媛大学大学院生）

11) 数値解析手法による石積み擁壁の水平方向荷重に対する安全性の検討

○松本陽介（高松高専専攻科生），土居正信（高松高専）

12) 粘性土地盤における簡易地盤支持力試験機の適用性について

○渡邊誠晶（ランデックス工業），山中 稔（香川大学工学部），向谷光彦（高松高専），松家定史（四電技術コンサルタント），和田雅和（五星）

13) ダイレイタンスー特性を考慮した二次圧密解析

○坂戸宣彦（徳島大学大学院生），日下拓也（徳島大学大学院生），望月秋利（徳島大学大学院），劉譔劍（徳島大学大学院）

14) 2007 年新潟県中越沖地震における柏崎市中心部の舗装被害

○飯塚晃史（愛媛大学工学部生），森伸一郎（愛媛大学大学院），河田皓介（愛媛大学大学院生），河野幸一（愛媛大学大学院）

15) 2007 年新潟県中越沖地震において被害の集中した柏崎市中心部における地形測量

○河野幸一（愛媛大学大学院），森伸一郎（愛媛大学大学院），河田皓介（愛媛大学大学院生），飯塚晃史（愛媛大学工学部生）

16) 2007 年新潟県中越沖地震における液状化調査

○河田皓介（愛媛大学大学院生），森伸一郎（愛媛大学大学院），飯塚晃史（愛媛大学工学部生），門田慶史（愛媛大学工学部生）

●セッション 3 13:00~14:10 (8 編) 座長：吉村 洋（阿南高専）

- 17) 信頼性理論に基づく無限長斜面の破壊確率の計算
 鈴木 壽 (徳島大学大学院), ○高橋和希 (徳島大学大学院生)
- 18) 御荷鉾帯の地すべりにおける調査および対策の事例
 ○木村一成 (ナイバ), 小野山英則 (ナイバ), 菅秀哉 (ナイバ)
- 19) 落石運動解析に要する不連続変形法のパラメータ同定法に関する研究
 ○内輪丈彰 (徳島大学大学院生), 能野一美 (基礎建設コンサルタント) 蔣 景彩 (徳島大学大学院), 山上拓男 (徳島大学大学院)
- 20) 三次元すべり面理論に基づくアンカーの負担すべき抑止力評価
 ○竹田竜樹 (徳島大学大学院生), 蔣 景彩 (徳島大学大学院), 山上拓男 (徳島大学大学院)
- 21) 水平・鉛直地震動を考慮した斜面安定解析に関する考察
 ○蔣 景彩 (徳島大学大学院), 山上拓男 (徳島大学大学院), 富山善史 (徳島大学大学院生)
- 22) 圧入鋼管杭の支持力公式に関する考察
 ○尾川七瀬 (技研製作所), 石原行博 (技研製作所), 木下三郎 (技研製作所), 多賀谷宏三 (技研製作所), 社城尚晃 (高知高専専攻科生), 志和隼也 (高知高専生), 岡林宏二郎 (高知高専)
- 23) 圧入鋼管杭の初期剛性に関する実験的考察
 ○社城尚晃 (高知高専専攻科生), 志和隼也 (高知高専生), 岡林宏二郎 (高知高専), 尾川七瀬 (技研製作所), 石原行博 (技研製作所), 木下三郎 (技研製作所), 多賀谷宏三 (技研製作所),
- 24) 圧入鋼管杭の圧入後の経過時間と引抜時の縁切り力の関係に関する考察
 ○木下三郎 (技研製作所), 石原行博 (技研製作所), 尾川七瀬 (技研製作所), 多賀谷宏三 (技研製作所), 社城尚晃 (高知高専専攻科生), 志和隼也 (高知高専生), 岡林宏二郎 (高知高専)
- セッション4 14:20~15:30 (8編) 座長: 蔣 景彩 (徳島大学)
- 25) 圧入鋼管杭の圧入スピードと周面摩擦力度の相関性に関する研究
 ○志和隼也 (高知高専生), 社城尚晃 (高知高専専攻科生), 岡林宏二郎 (高知高専), 石原行博 (技研製作所), 尾川七瀬 (技研製作所), 木下三郎 (技研製作所), 多賀谷宏三 (技研製作所)
- 26) Experimental Study on Behavior of Pore Water Pressure around Pressed-in Pile
 ○Yukihiro Ishihara (Giken Seisakusho), Nanase Ogawa (Giken Seisakusho), Saburo Kinoshita (Giken Seisakusho), Kozo Tagaya (Giken Seisakusho), Junya Shiwa (Kochi National College of Technology), Naoki Yashiro (Kochi National College of Technology) and Kojiro Okabayashi (Kochi National College of Technology)
- 27) 平面すべりを想定した地震時広域岩盤斜面崩壊予測法
 ○富山善史 (徳島大学大学院生), 蔣 景彩 (徳島大学大学院), 山上拓男 (徳島大学大学院)
- 28) 自然地山せん断強度定数の逆解析法に関する一提案 (第3報)
 ○井川祐太 (徳島大学大学院生), 蔣 景彩 (徳島大学大学院), 山上拓男 (徳島大学大学院)
- 29) 非塑性不飽和シルトの液状化強度に関する研究
 ○野口康平 (愛媛大学大学院生), 岡村未対 (愛媛大学大学院)
- 30) 空気注入による地盤不飽和化過程の数値シミュレーション

○河内義範（愛媛大学大学院生），安原英明（愛媛大学大学院），岡村未対（愛媛大学大学院）

31) 不飽和地盤の動的遠心実験の数値シミュレーション

○増田雅士（愛媛大学大学院生），岡村未対（愛媛大学大学院）

32) 砂の液状化強度に及ぼす間隙圧縮率の影響

○岡村未対（愛媛大学大学院），曾我恭匡（阪神高速道路）

●セッション5 15:40～16:50 (8編) 座長：岡林宏二郎（高知高専）

33) 地盤変位を考慮した既存杭基礎の耐震性簡易評価に関する考え方

○森伸一郎（愛媛大学大学院）

34) 慣性力と地盤変位を考慮した杭の耐震性簡易評価に関する基礎的検討

○山崎竜馬（愛媛大学工学部生），森伸一郎（愛媛大学大学院）

35) 濃尾平野における地盤の振動特性

○久木留貴裕（愛媛大学大学院生），森伸一郎（愛媛大学大学院），佐伯嘉隆（愛媛大学大学院）

36) 高知道の軟弱地盤区間における地盤のせん断波速度とN値の関係

○田窪裕一（愛媛建設コンサルタント），神野邦彦（愛媛建設コンサルタント），森伸一郎（愛媛大学工学部），佐伯嘉隆（愛媛大学大学院生）

37) 地盤変位を考慮した道路橋杭基礎の耐震設計の事例

須賀幸一（芙蓉コンサルタント），○小倉和壽（芙蓉コンサルタント），弓立 晃（芙蓉コンサルタント），右城 猛（第一コンサルタント），筒井秀樹（第一コンサルタント），水田勝也（第一コンサルタント），森 伸一郎（愛媛大学大学院）

38) 薄肉プラスチック管の地震時の安全性

吉村 洋（阿南高専），○佐藤大輔（阿南高専専攻科生），東田 淳（大阪市大），井上裕司（中央復建コンサルタント）

39) カトマンズ盆地の砂地盤の液状化特性

○矢田部龍一（愛媛大学大学院），岡村未対（愛媛大学大学院），ネトラ・バンダリー（愛媛大学大学院）

40) 小中学生を主役とした防災教育の展開

○松本美紀（愛媛大学大学院），矢田部龍一（愛媛大学防災情報研究センター），中島淳子（愛媛大学工学部）

【交流会】 17:30～

<10月20日（土）>

●セッション6 9:30～10:40 (8編) 座長：木下尚樹（愛媛大学）

41) 地表地質踏査結果を反映した弾性波探査事例

○石井秀明（ナイバ），松井周洋（日本メジャーサーヴェイ）

42) 香川県内ため池堤体土のS波速度と土質特性との関係

長谷川修一（香川大学工学部），○香川慶孝（香川大学大学院生），山中 稔（香川大学工学部），斎藤章彦（四国総合研究所）

43) ため池底泥の貼り付け護岸材料への現場実証実験

○三村 享（香川大学大学院生），山中 稔（香川大学工学部），長谷川修一（香川大学工学部），大谷恭弘（香川県東讃土地改良事務所）

44) 表面遮水シート工法によるため池堤体の新設計法 (その1)

田中勝彦 (鳴門測量設計), ○向谷光彦 (高松高専), 山本陸登 (高松高専生), 春本繁 (高松高専)

45) 軟弱地盤における土質安定処理土の築堤材料としての適用性試験

片上 靖 (愛媛県大洲土木事務所), 久保慶徳 (四電技術コンサルタント), 大西賢三 (四電技術コンサルタント), ○菅原大介 (四電技術コンサルタント)

46) 地盤液状化時の杭の応答に影響を与える外力要素と表層地盤条件

○林 和幸 (愛媛大学大学院), 高橋章浩 (土木研究所), 谷本俊輔 (土木研究所)

47) 愛媛大学遠心模型実験装置の製作

○政岡 孝 (愛媛大学), 山本健児 (愛媛大学工学部生), 石丸恭平 (愛媛大学工学部生), 二神 治 (愛媛大学工学部), 岡村未対 (愛媛大学大学院)

48) 凍結試料の小型コーン貫入試験と SPT-N 値の比較

○桑田光章 (愛媛大学大学院生), 森重裕亮 (愛媛大学大学院生), 岡村未対 (愛媛大学大学院)

●セッション7 10:50~12:00 (7編) 座長: 向谷光彦 (高松高専)

49) 高知平野不攪乱粘性土を用いた等方・異方圧密状態での動的変形特性の比較

○川島壮仁 (愛媛大学大学院生), 矢田部龍一 (愛媛大学大学院), 岡村未対 (愛媛大学大学院)

50) 切羽前方探査で得られるスライムを用いた膨潤性粘土鉱物の現場判定方法の提案

○荒木裕行 (香川大学大学院生), 長谷川修一 (香川大学工学部), 山中 稔 (香川大学工学部), 柳沢一俊 (西松建設), 田村栄治 (四電技術コンサルタント)

51) 凝灰岩地帯における地すべりの形態と凝灰岩粘土の特性

○廣田清治 (愛媛大学), 矢田部龍一 (愛媛大学防災情報研究センター), ネットラ・バンダリー (愛媛大学大学院)

52) 熱水の影響を受けた岩石の強度・変形特性に関する実験結果

○津吉靖得 (愛媛大学大学院生), 木下尚樹 (愛媛大学大学院), 安原英明 (愛媛大学大学院),

53) 石炭灰粒状材の低温性に及ぼす水分の影響

○増田英太郎 (香川大学大学院生), 山中 稔 (香川大学工学部), 長谷川修一 (香川大学工学部), 岩原廣彦 (四国産業・技術振興センター), 武藤吉範 (四国電力)

54) 軟弱地盤を対象とした河川改修事業による周辺への影響について

○藤川 聡 (四電技術コンサルタント), 松家定史 (四電技術コンサルタント), 重松秀紀 (高知県中央西土木事務所)

55) 軟弱地盤に関する地質リスク事例

中村和弘 (相愛), ○常川善弘 (相愛)

【現場見学会】 13:00~17:00

見学場所: 香川用水調整池建設現場 (香川県三豊市山本町)

参加人数: 22名

(2) 平成 19 年度学術講演会

主催：地盤工学会四国支部・土木学会四国支部

日時：平成 19 年 11 月 29 日（木） 13:00～17:00 時

会場：高知大学メディアの森（図書館）6F メディアホール（高知市）

内容：

- 1) 「大規模地震と土砂災害」 井上公夫（（財）砂防フロンティア整備推進機構参与・技師長）
- 2) 「高知市の南海地震対策」 荒木晴幸（高知市防災対策課長）
- 3) 総合討論

参加者：37 名

(3) 「斜面の安定・変形解析入門－基礎から実例まで－」講習会

主催：地盤工学会四国支部

後援：土木学会四国支部

日時：平成 20 年 1 月 25 日（金）13:00～17:00

会場：サンメッセ香川（高松市）

内容：

- 1) 「斜面安定解析法の種類と特徴」 蔣 景彩（徳島大学）
- 2) 「斜面及びすべり面の土の強度、土質定数の決め方」 矢田部龍一（愛媛大学）
- 3) 「斜面对策工の設計と効果判定」 内田 純二（NEXCO 西日本）
- 4) 「平成 16 年台風による斜面災害」 山中 稔（香川大学）

参加者：41 名（会員 22 名、後援団体会員 3 名、非会員 13 名、学生会員 3 名）

3. 各県地盤工学会研究会

(1) 徳島県地盤工学会研究会

1) 平成 19 年度徳島地盤工学会第 1 回特別講演会

日時：平成 19 年 6 月 28 日（木）14:40～17:30

場所：徳島大学 工業会 2F 大会議室

テーマ：日本人の国際化の課題

①浜田 武（鹿島建設株式会社）

講演題目：土木工事の海外事情

②林 宏二郎（上海四国食品包装機械有限公司）

講演題目：現地の会社経営から学ぶ中国の光と影

参加人数：37 名

2) 平成 19 年度 地盤と環境に関するシンポジウム

日時：平成 19 年 8 月 31 日（金）13:00～17:00

会場：徳島大学工学部内 工業会館 2 F 会議室

参加費：2,000 円

プログラム：

司会 （株）基礎建設コンサルタント 中木一文

開会挨拶 四国地質調査業協会 徳島県支部 支部長 岡田章二

特別講演 1 「徳島県における社会資本整備の目指すべき方向」

徳島県 県土整備部 部長 小池幸男

特別講演 2 「四国の三波川南縁部から秩父帯にかけての地質構造」

徳島大学総合科学部 教授 村田明広

一般技術発表

①穴吹橋架橋に見る周辺環境の変化」

加賀晃次（（株）エスシー企画）

②吉野川河口干潟の生きもの―「ホウロクシギ」と「ルイスハンミョウ」の摂餌環境と摂餌行動について 萬宮竜典（（株）ニタコンサルタント 環境部），他

③河川工事中に見つかった近代河川構造物の調査及び保全計画

高田恵二（（株）フジタ建設コンサルタント 第1事業部），他

④老朽化した海岸の空洞調査の一例

小田桐七郎（（株）四国建設コンサルタント）

⑤東環状大橋（仮称）施工上の課題と対応

長倉純（徳島県 県土整備部 都市道路整備局）

⑥堤防における物理探査の適用性について

田中敏彦（応用地質株式会社）

⑦FEM-SS 法を用いた斜面の危険性の評価

石川裕規（（株）ニタコンサルタント），他

⑧浚渫へドロ埋立地における動態観測および圧密沈下解析事例

中木一文（（株）基礎建設コンサルタント），他

閉会挨拶 徳島大学大学院 教授 望月 秋利

参加人数 112 名（85 名＋学生 27 名）

意見交換会（工業会館 1 F エルボ）17:15-18:45

3) 平成 19 年度徳島県地盤工学会第 2 回特別講演会

日時：平成 20 年 2 月 27 日（水）13:30～15:00

場所：徳島大学工学部 建設 A 棟 3F-A303 室

参加費：無料

内容：地盤情報データベースによる地域の液状化危険度評価

山本 浩司（（財）地域地盤環境研究所）

参加人数：23 名

(2) 香川県地盤工学会

1) 「香川の地盤」発刊記念講演会及び祝賀会

日時：平成 19 年 6 月 7 日（木）講演会 13:00～17:00, 祝賀会 17:30～19:30

場所：高松テルサ

内容：①長谷川修一（香川大学）

「香川の地盤」の作成と今後の課題

②石井秀明（(株)ナイバ）、田村彰三（田村ボーリング(株)）

香川の地下水に関する最近の話題

③松倉恒和（(独)水資源機構）

香川用水調整池の地盤調査、設計・施工

④矢田部龍一（愛媛大学）

四国の地盤工学の発展に向けて

講演会：参加者数 47 名

祝賀会：参加者数 23 名

2) 赤色立体地図活用セミナー

日時：平成 19 年 9 月 3 日（月）13:30～14:30

場所：香川大学工学部 2 号館 2209 演習室

講演：千葉達朗（アジア航測(株)）

赤色立体地図の活用事例

参加者数：15 名

3) 学術講演会

日時：平成 20 年 2 月 8 日（金）14:00～17:00

場所：アイパル香川（高松市）

内容：①夕部雅丈（高知県土木部建設検査課）

ワンデーレスポンス方式による建設マネジメント改革

②島 重章（広島工業大学工学部都市建設工学科）

衛星リモートセンシングによる地盤環境調査への適用

参加者数：15 名

4) 平成 19 年度 第 1 回技術交流会

日時：平成 20 年 2 月 29 日（金）13：30～16：00

場所：高松高専専攻科棟 2F 講義室

内容：高松高専専攻科特別研究発表審査会を兼ねた研究発表

①廃棄用瓦を有効利用した屋根用下地モルタルの開発 上田聡史

②高速回転するチェーンの打撃エネルギーを利用した破碎処理機の
チェーン形状に関する研究 柿原貴一

③硬質ウレタンを付着した鋼板の振動性状に関する研究 仙波文裕

④高強度低弾性係数繊維シートを用いた可撓性プレキャストコンクリート製品の
接合法の開発 谷川幸平

⑤ブロック積擁壁の連結法が動的挙動に与える影響 淵 靖文

参加者数：28 名

5) 平成 19 年度第 2 回技術交流会

日時：平成 20 年 3 月 13 日（木）13：30～14：45

場所：高松高専専攻科棟 3F 講義室

参加費：無料

内容：高松高専専攻科特別研究発表審査会を兼ねた研究発表

①道路床版の補修判定法の提案と補修対象となる香川県内橋梁数の予測 大西孝典

②横補強筋のない RC 部材のサイドスプリット型付着破壊の解析モデルの提案 瀬戸亮太

③数値解析手法による石積み擁壁の安定性の検討 松本陽介

参加者数：19 名

（3）高知県地盤工学会

1) 第 24 回高知県地盤工学会（講演会）

日時：平成 19 年 7 月 12 日（木） 13：00～17：00

場所：高知共済会館 3 F 金鶏（高知市本町 5-3-20）

参加費：2,000円（テキスト代）

プログラム：

①国土・社会構造の変化と自然災害への脆弱性

東京工業大学 大学院理工学研究科土木工学専攻 日下部 治

②南海地震津波対策検討事例の紹介

ロイヤルコンサルタント 筒井秀樹

第一コンサルタンツ 水田勝也

③総合討論

参加者数：51 名（内聴講のみ 6 名）

2) 第 25 回高知県地盤工学会 (講演会)

日時：平成 20 年 3 月 19 日 (水) 13:00～17:00

場所：高知グリーン会館 2F グリーンホール (高知市本町 5-6-1)

参加費：2,000 円 (テキスト代)

プログラム：

①高知城三の丸の発掘調査

(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター 吉成承三

②高松城天守台石垣盛土の構築方法

香川大学工学部 安全システム建設工学科 山中 稔

③地質リスクマネージメントの方向性

高知工科大学工学部 フロンティア工学教室 渡邊 法美

④総合討論

参加者数：30 名

(4) 愛媛県地盤工学会

1. 四国の地盤災害・地盤環境に関する第 7 回シンポジウム

主催：愛媛大学防災情報研究センター&地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学会

日時：平成 19 年 6 月 1 日 (金) 13:00～2 日 (土) 11:30

会場：愛媛大学総合情報メディアセンター・メディアホール (松山市文京町 3)

発表者：26 名，参加者：27 名

<6 月 1 日>

特別講演 「地盤環境・災害問題に土質力学を活用するには」 愛媛大学名誉教授 八木則男

第 I セッション【地盤災害・地盤環境問題事例】 座長 山本浩司

1) 重金属類の土壤汚染に配慮した道路トンネルの調査・施工例

応用地質四国支社○高柳朝一、一色弘充、二神組 青木徹夫、愛媛県松山地方局 村上雅彦

2) ため池底泥の護岸材料適用に関する現場試験施工

香川大学工学部 ○山中稔、長谷川修一、香川大学大学院 三村亨、香川県 大谷恭弘

3) 石炭灰粒状材の路面温度低減効果に関する屋外実証試験

香川大学大学院 ○増田英太朗、香川大学工学部 石塚正秀、山中稔、長谷川修一、
四国産業・技術振興センター 岩原廣彦、四国電力 武藤吉範

4) 徳島自動車道花園地区地すべり対策の変遷

西日本高速道路徳島管理事務所改良課 ○井上龍二、佐竹史年、寺尾幸青

第 II セッション【斜面の環境・安定問題】 座長 内田純二

5) 表面波探査による香川県内のため池堤体の S 波速度分布

香川大学工学部 長谷川修一、香川大学大学院 ○香川慶孝、香川大学工学部 山中稔、
四国総合研究所 斎藤章彦、応用地質 林宏一

- 6) パイプ式斜面監視装置による住宅斜面のモニタリング
秋山調査設計 秋山健一郎、香川大学工学部 ○三村亨、香川大学工学部 長谷川修一、
豊和開発 富田直人
 - 7) 表層崩壊に伴う二次災害の監視事例
応用地質四国支社 ○佐藤洋平、谷川正志
 - 8) 気象特性パターンの解明に基づく局地的豪雨の予測手法
西日本高速道路徳島管理事務所工務課 ○高下正剛、内田純二、山口剛央、矢田部龍一
 - 9) 作成方法の異なる DEM に基づく地形量と地震時斜面崩壊危険度の比較
香川大学大学院○西村俊明、香川大学工学部 野々村敦子、長谷川修一、アジア航測 林宏年
第Ⅲセッション【土の強度特性と地震時の地盤災害】 座長 山中稔
 - 10) 第三系神戸層群“上久米凝灰岩”の一面せん断強度特性
愛媛大学 ○廣田清治、矢田部龍一、ネトラ・P・バンダリ
 - 11) Mineralogical influence on shear resistance of clayey soils involved in landslides of Nepal
愛媛大学大学院 ○ネトラ P. バンダリ、矢田部龍一、環境地質 稲垣秀輝、
香川大学 長谷川修一、パンタ・ボジュ・ラジュ
 - 12) 南海地震による漁港の液状化予測法および港湾構造物の被害予測法に関する研究
高知工業高等専門学校 岡林宏二郎
 - 13) 高知県の砂地盤の液状化強度と評価法
愛媛大学大学院理工学研究科 岡村未対、○森重裕亮
 - 14) 空気注入による砂地盤の液状化強度の増加
愛媛大学大学院理工学研究科 岡村未対
 - 15) 擁壁災害に関する事例(その1)
第一コンサルタンツ 田中宏和
 - 16) 擁壁災害に関する事例(その2)
第一コンサルタンツ 齋藤啓太
- <6月2日>
- 第Ⅳセッション【地盤調査・地盤材料試験・設計】 座長 岡林宏二郎
- 17) 小型の室内試験・原位置試験の利活用
高松工業高等専門学校 ○向谷光彦、佐々木祐二、岡崎芳行、日本興業 右近雄大、
開発コンクリート 藤原保夫
 - 18) 路面に発生した陥没の調査手法の提案
西日本高速道路株式会社徳島管理事務所維持課 ○永井基博、若松一彦、寺尾幸青
 - 19) 災害時における簡易 GPS の活用
芙蓉コンサルタント 須賀幸一、○赤坂剛
 - 20) 安心な宅地耐力評価のための動的静的コーンの開発と現地への適用(その2)
応用地質東京本社技術部 利藤房男
 - 21) 地盤解析の活用事例について
荒谷建設コンサルタント 白石央
 - 22) Geological engineering aspects on the infrastuctural development of in Nepal.

Kagawa Univ. ○Ranjan Kumar Dahal、Shuichi Hasegawa

第Ⅴセッション【防災・環境・景観教育】 座長 向谷光彦

23) ネパール、カトマンズ盆地の世界遺産寺院の斜面災害とその保全

環境地質 稲垣秀輝

24) 地域から愛され、お客様に喜ばれる会社をめざして(副題：障害者と高齢者の職場提供、高速道路施設の出前講座)

西日本高速道路徳島管理事務所工務課 ○内田純二、高下正剛、永井基博

25) 解決志向型アプローチ技法を用いた要援護者支援計画

愛媛大学大学院理工学研究科大学院生 松本美紀

26) 重信川の自然環境と環境教育の展開

愛媛大学 ○中島淳子、松山河川国道事務所 岡俊一、愛媛大学大学院 矢田部龍一

27) 小中学生が主役としての防災教育の展開

愛媛大学大学院理工学研究科 ○矢田部龍一、木下尚樹、愛媛大学教育学部 高橋治郎

2. 地盤災害出前講座 「豪雨と地震による地盤災害から身を守る」

主催：愛媛県地盤工学会

内容：

1) 浮島小学校防災講演会

日時：平成20年2月8日(金) 14:10～16:30

対象：浮島小学校児童、教職員

講師：矢田部龍一、松本美紀

2) 新居浜西中学校防災講演会

日時：平成20年2月18日(月) 14:10～16:30

対象：新居浜西中学校生徒、教職員

講師：中島淳子、松本美紀

3) 新居浜小学校防災講演会

日時：平成20年2月21日(木) 14:00～15:30

対象：新居浜小学校4年～6年生、教職員

講師：矢田部龍一、松本美紀

4) 新居浜市立泉川小学校防災講演会

日時：平成20年2月27日(水) 15:30～16:30

対象：泉川小教職員 28名

講師：矢田部龍一

4. 後援事業

1) 地域に役立つ GIS 実践セミナー in えひめ

日時：平成 19 年 8 月 3 日（金）13：30～17：00

場所：愛媛大学工学部 講義 4 階 42 番講義室

参加者：35 名

主催：NPO 法人全国 GIS 技術研究会，中四国 GIS 技術研究会

共催：土木学会四国支部愛媛地区部会，地盤工学会四国支部，愛媛大学防災情報研究センター，
NPO 愛媛県建設技術支援センター

後援：国土交通省国土地理院四国地方測量部，愛媛県，松山市

内容：

- 挨拶及び講演①電子国土のご紹介 岩瀬 三夫(国土交通省国土地理院四国地方測量部長)
- ②土砂災害に備えて 三宅 和志(国土交通省四国地方整備局河川部建設専門官)
- ③GPSデータを活用した地図上での避難計画シナリオ・シミュレータの構築と適用について
二神 透(愛媛大学防災情報研究センター)
- ④松山市における防災情報の構築と活用について 竹場 登(松山市消防局防災対策課)
- ⑤地域における GIS の構築と連携について 久保田 敦司(中四国 GIS 技術研究会)
- ⑥GIS 事例報告 中四国 GIS 技術研究会会員(総合コンサルタント，芙蓉コンサルタント)
- 質疑応答

2) テーマ：香川地域の‘減災～水環境’に関するしんぽじうむ

ー地震・コンクリと水にまなぶー

日時：平成 19 年 8 月 30 日（木）13：00～17：00

場所：KKR 高松さぬき荘（高松市）

参加者：29 名

主催：土木学会四国支部 香川地域の‘減災～水環境’研究会

後援：土木学会四国支部香川地区行事

地盤工学会四国支部香川県地盤工学研究会

高松高専地域防災研究グループ，四国探査技術開発研究会

内容：

- ①福岡県西方沖地震の体験+②コンクリートのはなし
水越 睦視(高松工業高等専門学校)
- ③香川の地下水のはなし
田村 彰三(田村ボーリング(株))

3) トンネル技術講演会

日時：平成 19 年 9 月 14 日（金）13：00～17：00

場所：サンポートホール高松（高松市）

参加者：100 名

主催：NEXCO 西日本四国支社

後援：(社) 土木学会四国支部，日本応用地質学会中国四国支部，(社) 地盤工学会四国支部

内容：

①トンネル現場において私が学んだ教訓

櫻井 春輔（神戸大学名誉教授、(財)建設工学研究所理事長）

②トンネル技術は右脳で楽しむ

定塚 正行（日本シビックコンサルタント(株)技師長）

③現場で気になること

中川浩二（山口大学名誉教授、NPO 臨床トンネル工学研究所理事長）

4) 国土交通省先端技術フォーラム

日時：平成 20 年 2 月 18 日（月） 13：30～17：30

場所：サンポートホール高松（高松市）

主催：国土交通省

共催：香川大学

後援：香川県，高松市，四国経済連合会，高松商工会議所，(社)地盤工学会四国支部，(社)土木学会四国支部，(社)日本機械学会中四国支部，(社)日本気象学会関西支部，(社)建築学会四国支部，(社)日本船舶海洋工学会関西支部，四国ブロック地域科学技術振興協議会

5. 支部委員会

1) 四国支部賞表彰委員会

四国支部年次表彰制度規定が平成 19 年度 1 月に新設された。この規定に準じて四国支部賞を選考する表彰委員会が開催され、平成 19 年度四国支部賞（技術賞、技術開発賞、研究・論文賞、功績賞）に応募された業績の審査および受賞業績の決定を行った。

表彰制度検討第 1 回WG：平成 19 年 9 月 11 日（火）15：30～17：30，香川大学工学部

表彰制度検討第 2 回WG：平成 19 年 10 月 19 日（金）12：00～13：00，香川県民ホール

第 1 回表彰委員会：平成 20 年 3 月 14 日（金）15：00～17：00，香川大学工学部

第 2 回表彰委員会：平成 20 年 3 月 31 日（火）14：00～16：00，香川大学工学部

2) 四国支部 50 周年記念事業

平成 21 年に四国支部は創立 50 周年を迎える。支部 50 周年記念実施事業を平成 21 年 9 月開催予定としており、平成 19 年度に準備検討委員会を設置、平成 20 年度に実行委員会を立ち上げ、50 周年記念事業について今後検討していくことを予定している。

第 1 回準備検討委員会：平成 19 年 9 月 11 日（火）14：00～15：30，香川大学工学部

3) 四国地域地盤問題研究委員会

第 1 回研究委員会

日時：平成 19 年 4 月 17 日（火）16：00～17：00

場所：高松テルサ（高松市）

参加人数：17 名

内容：①研究委員会発足の経緯説明

②今後の活動内容の検討

第2回研究委員会

日時：平成19年7月20日（金）18：00～21日（土）12：30

場所：高知市国民宿舎桂浜荘（高知市）

参加人数：15名

内容：①講演 吉田秀典氏（香川大学工学部・教授）

「わが国における放射性廃棄物の処分の現状と処分坑道の健全性に関する話題」

②各委員による話題提供（9件発表）

③今後の活動内容の検討

第3回研究委員会

日時：平成19年11月30日（金）18：00～12月1日（土）12：00

場所：鳴門エディングホテル七洲園（鳴門市）

参加者：12名

内容：①講演 岡村未対氏（委員会委員長，愛媛大学大学院・准教授）

「液化化対策としての地盤への空気注入による脱水」

②各委員による話題提供（5件発表）

③今後の活動内容の検討

4) 落石対策研究会

第1回研究会

日程：平成19年7月30日（月）

場所：愛媛大学工学部会議室（松山市）

参加者数：16名

内容：①落石対策研究会活動方針についての討議

- ・落石の危険度予測法の検討について
- ・落石防護ネットの設計法に関する検討について
- ・落石防護柵基礎の設計法に関する検討について
- ・落石対策マニュアルの執筆と発刊について

第2回研究会

日程：平成19年8月22日（水）

場所：愛媛大学工学部会議室（松山市）

参加者数：12名

内容：①執筆担当者の決定

②落石対策マニュアルの内容についての討議

第3回研究会

日程：平成19年12月20日（木）

場所：高知県南国市岡豊町小蓮（実験場）他

参加者数：12名

内容：①落石防護網の重錘衝突実験（予備実験）の視察

②落石防護網の重錘衝突実験についての報告

③落石防護柵基礎工についての討議

6. 受託研究

1) NEXCO 西日本四国支社 耐震性評価手法検討委員会

本委員会は、NEXCO 西日本四国支社高松技術事務所からの受託業務の検討のために設置されたものであり、四国の高速道路の大規模地震時の自然斜面の安定問題の検討、盛土のり面の沈下・安定問題の検討、それと基礎の安定性についての検討を目的としている。

- ・受託業務名：四国支社管内 耐震性評価手法検討業務

- ・業務期間：自）平成 19 年 7 月 24 日 至）平成 20 年 3 月 14 日

- ・実施体制：地盤工学会四国支部内に「NEXCO 西日本四国支社耐震性評価手法検討委員会」（委員長：矢田部龍一、委員数 14 名）を設置し業務を行った。

- ・内容

①地震時における斜面の被害想定（斜面 WG）

四国支社管内を対象として重要点検箇所選定マニュアルにより選定された重要点検箇所の妥当性の検討、および斜面の崩壊危険度判定法に関する検討を行った。

②地震時における盛土の被害想定（盛土 WG）

徳島自動車道（徳島 IC～藍住 IC 間）および高知自動車道（南国 IC～須崎東 IC）を検討対象とし、重要点検箇所選定マニュアルにより選定された重要点検箇所の妥当性を検討した。また、徳島道での地表面地震動波形を現地の地盤特性を考慮して作成し、液状化による盛土の被害の検討を行った。

③地震による基礎の被害想定（基礎 WG）

重要箇所選定マニュアルにより選定された重要点検箇所の妥当性の検討、および基礎の簡易危険度判定法の妥当性を検討した。

委員会

「NEXCO 西日本四国支社耐震性評価手法検討委員会」を設置し、3 回の委員会を開催して WG で検討された上記①～③の内容を審議した。

第 1 回委員会：平成 19 年 8 月 27 日（月）

第 2 回委員会：平成 19 年 12 月 6 日（木）

第 3 回委員会：平成 20 年 2 月 14 日（木）

2) 国土交通省 四国管内基礎地盤情報構築検討委員会

本委員会は、国土交通省四国地方整備局四国技術事務所からの受託業務の検討のために設置されたものであり、東南海・南海地震時の高知平野の地盤震動シミュレーションを行うために、浅層ならびに深層電子地盤図を作成することを目的としている。

第1回委員会

日時：平成19年10月26日(金) 15:00～17:00

場所：高知サンライズホテル（高知市本町2-2-31, TEL. 088-822-1281）

参加者数：14名

内容：①委員会の設立趣旨、規約

②委員長他の選出

③高知平野を対象とした東南海・南海地震による既存の被害想定と本調査の特徴

④高知平野の各種地盤情報の収集状況と地盤の特性

⑤高知平野地盤モデルの構築と地震動解析について

第2回委員会

主催：地盤工学会四国管内基礎地盤情報構築検討委員会

日時：平成20年2月26日(火) 10:30～13:00

場所：サンポートホール高松 55 会議室（高松市サンポート2-1 TEL. 087-825-5000）

参加者数：18名

内容：①前回議事の確認

②本調査に関する確認，全体計画（目的と背景），本年度の調査内容，

本調査の地震動評価の特徴と手法

③調査成果の中間報告，PS 検層データ，浅層地盤モデル，深部地盤モデル

④次年度以降の調査計画（案）

第2号議案 平成19年度 支部収支決算報告（案）

四国支部収支計算書

四国支部・一般会計（平成19年度）

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
I 収入の部				
1 事業収入	520,000	42,596,996	△ 42,076,996	
(1) 学術集會事業収入	370,000	715,856	△ 345,856	
1) 学術講演會収入	150,000	74,000	76,000	
2) 見学会収入	20,000	22,000	△ 2,000	
3) 技術研究発表會収入	200,000	328,156	△ 128,156	
4) 講習會収入	0	291,700	△ 291,700	本部主催から支部主催に変更して実施
(2) 受託業務収入	0	41,881,140	△ 41,881,140	
1) NEXCO	0	16,996,140	△ 16,996,140	H19.7.24付けでNEXCOより新規受託
2) 国交省	0	24,885,000	△ 24,885,000	H19.8.14付けで国交省より新規受託
(3) その他の事業収入	150,000	0	150,000	
1) 本部主催講習會収入	150,000	0	150,000	
2 雑収入	150,000	196,973	△ 46,973	
(1) 受取利息	200	6,973	△ 6,773	
(2) 雑収入	149,800	190,000	△ 40,200	
3 繰入金収入	1,960,000	2,009,365	△ 49,365	
(1) 本部交付金	1,960,000	2,009,365	△ 49,365	
当期収入合計(A)	2,630,000	44,803,334	△ 42,173,334	
前期繰越収支差額	2,474,474	2,474,474	0	
収入合計(B)	5,104,474	47,277,808	△ 42,173,334	
II 支出の部				
1 事業費	1,270,000	42,104,858	△ 40,834,858	
(1) 学術集會事業費	470,000	892,441	△ 422,441	
1) 学術講演會費	100,000	141,035	△ 41,035	
2) 見学会費	70,000	77,857	△ 7,857	
3) 技術研究発表會費	300,000	407,137	△ 107,137	
4) 講習會費	0	266,412	△ 266,412	本部主催から支部主催に変更して実施
(2) その他事業費	800,000	799,553	447	
1) 研究会助成金支出	800,000	799,553	447	
2) 土木展支出	0	0	0	
(3) 受託業務費	0	40,412,864	△ 40,412,864	
1) NEXCO	0	15,298,613	△ 15,298,613	H19.7.24付けでNEXCOより新規受託
2) 国交省	0	23,020,194	△ 23,020,194	H19.8.14付けで国交省より新規受託
3) 受託事務手数料	0	2,094,057	△ 2,094,057	同上本部手数料
2 管理費	1,360,000	1,539,332	△ 179,332	
(1) 僱入費支出	400,000	400,000	0	
(2) 會議費支出	150,000	57,070	92,930	
(3) 旅費・交通費支出	280,000	327,220	△ 47,220	
(4) 通信費支出	50,000	87,280	△ 37,280	
(5) 印刷費製本費支出	80,000	77,955	2,045	
(6) H P管理費支出	80,000	60,000	20,000	
(7) 雑支出	320,000	529,807	△ 209,807	
3 繰入金支出	1,000,000	1,000,000	0	
(1) 地盤工学会振興基金支出	1,000,000	1,000,000	0	
4 予備費	0	0	0	
当期支出合計(C)	3,630,000	44,644,190	△ 41,014,190	
当期支出差額(A) - (C)	△ 1,000,000	159,144	△ 1,159,144	
次期繰越収支差額(B) - (C)	1,474,474	2,633,618	△ 1,159,144	

四国支部・地盤工学会振興基金特別会計（平成19年度）

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
I 収入の部				
1 雑 収 入	900	6,284	△ 5,384	
(1) 受取利息	900	6,284	△ 5,384	
2 繰入金収入	1,000,000	1,000,000	0	
(1) 一般会計から繰入金収入	1,000,000	1,000,000	0	
当期収入合計(A)	1,000,900	1,006,284	△ 5,384	
前期繰越収支差額	4,004,514	4,004,514	0	
収入合計(B)	5,005,414	5,010,798	△ 5,384	
II 支出の部				
1 事業費	200,000	123,732	76,268	
(1) 自然災害の調査・研究事業費支出	100,000	99,633	367	
(2) 50周年記念事業支出	100,000	24,099	75,901	
当期支出合計(C)	200,000	123,732	76,268	
当期収支差額(A) - (C)	800,900	882,552	△ 81,652	
次期繰越収支差額(B) - (C)	4,805,414	4,887,066	△ 81,652	

監 査 報 告 書

社団法人 地盤工学会 四国支部
支部長 長谷川 修一 殿

平成20年4月4日

社団法人 地盤工学会 四国支部

監 事 穴吹敏範 

監 事 宇藤 幹也 

平成19年4月1日から平成20年3月31日までの平成19年度における
会計及び業務の監査を行ない、次のとおり報告する。

1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施するとともに、支部事務局から会計監査に関しての報告を受け、計算書類につき検討を加えた。
- (2) 業務監査について、支部事務局からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

2 監査結果

- (1) 平成19年度一般会計、特別会計（地盤工学振興基金）の収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の収支状況及び財産状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 支部役員の職務執行に関する不正の行為又は支部規定等に違反する事実はないと認める。

以 上

第3号議案 平成20年度 支部役員（案）

平成20年度 地盤工学会四国支部役員

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
支 部 長	山 上 拓 男	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 エコシステムデザイン部門 教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7345 FAX 088-656-7347
副支部長	玉 野 好 晴	西日本高速道路(株) 四国支社副支社長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1898 FAX 087-823-3636
"	矢 田 部 龍 一	愛媛大学 大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9817 FAX 089-927-9820
"	岡 田 進	(社)日本土木工業協会 四国支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 大成建設(株) 四国支店長 〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー19F	TEL 087-851-1254 FAX 087-851-3176 TEL 087-825-3400 FAX 087-825-3444
顧 問	望 月 秋 利	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 エコシステムデザイン部門 教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-9721 FAX 088-656-9721
"	祢 屋 誠	国土交通省 四国地方整備局長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-851-8061 FAX 087-851-8044
"	柏 木 順	(独)水資源機構吉野川局長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
"	武 山 正 人	建設コンサルタンツ協会 四国支部長 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)四電技術コンサルタント 代表取締役社長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 087-845-8881 FAX 087-887-2215
"	噂 耕 司	四国地質調査業協会 理事長 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 青葉工業㈱ 代表取締役社長 〒760-0074 高松市桜町1-17-3	TEL 089-965-1888 FAX 089-965-1777 TEL 087-862-8222 FAX 087-837-2807
"	田 中 英 成	四電技術コンサルタント 常務取締役技術本部長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
評 議 員	長谷川 修 一	香川大学 工学部安全システム建設工学科 教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2155 FAX 087-864-2031
"	笹 原 克 夫	高知大学 農学部 教授 〒783-8502 南国市物部乙200	TEL 088-864-5341 FAX 088-864-5341
"	上 野 勝 利	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 エコシステムデザイン部門 准教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7342 FAX 088-656-7342
"	森 伸 一 郎	愛媛大学 大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 准教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9818 FAX 089-927-9845
"	土 居 正 信	高松工業高等専門学校 建設環境工学科 教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3933 FAX 087-869-3929
"	吉 村 洋	阿南工業高等専門学校 建設システム工学科 准教授 〒774-0017 阿南市見能林町青木265	TEL 0884-23-7186 FAX 0884-23-7199
"	多 賀 谷 宏 三	(社)高知高専テクノフェロー 理事・事務局長 〒783-8508 高知県南国市物部 200-1	TEL 088-864-5679 FAX 088-864-5679
"	菊 池 良 介	国土交通省 四国地方整備局 企画部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-851-8061 FAX 087-851-8044
"	西 本 光 宏	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎8F	TEL 087-851-8061 FAX 087-811-8431
"	海 野 修 司	徳島県 県土整備部長 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2510 FAX 088-621-2864
"	久 保 市 郎	香川県 土木部長 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-831-1111 FAX 087-834-5374
"	清 水 裕	愛媛県 土木部長 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-941-2111 FAX 089-945-0282
"	石 井 一 生	高知県 土木部長 〒780-8570 高知市丸の内1-2-20	TEL 088-823-9811 FAX 088-823-9263
"	大 西 宣 二	西日本高速道路(株) 四国支社 建設事業部長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1895 FAX 087-851-1254

評議員	佐伯武俊	四国電力(株) 土木建築部 副部長	TEL 087-821-5061
		〒760-8573 高松市丸の内2-5	FAX 087-825-3033
"	須賀幸一	(株)芙蓉コンサルタント 取締役技術開発部部長	TEL 089-924-1313
		〒790-0063 松山市辻町2-38	FAX 089-923-5717
"	斎藤章彦	(株)四国総合研究所 土木技術部主席研究員	TEL 087-844-9215
		〒761-0113 高松市屋島西町2109-8	FAX 087-844-9235
	田村孝治	四国地質調査業協会 理事	TEL 087-862-5121
		〒760-0067 高松市松福町2-15-24	FAX 087-862-5120
		田村ボーリング(株) 代表取締役	TEL 087-833-7878
		〒760-0007 高松市中央町6-19-21	FAX 087-834-4795
"	森直樹	四国地質調査業協会 理事	TEL 087-862-5121
		〒760-0067 高松市松福町2-15-24	FAX 087-862-5120
		(株)地研 代表取締役社長	TEL 088-822-1535
		〒780-0974 高知市円行寺25	FAX 088-822-1548
"	田中千博	建設コンサルタント協会 四国支部 理事	TEL 087-851-5881
		〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	FAX 087-823-8730
		(株)エイトコンサルタント 松山支社 支社長	TEL 089-971-6511
		〒790-0054 松山市空港通2-9-29	FAX 089-973-3132
"	安藤進	土工協四国支部 副支部長	TEL 087-851-6969
		〒760-0026 高松市磨屋町6-4	FAX 087-851-3176
		鹿島建設(株) 四国支店 執行役員支店長	TEL 087-839-3100
		〒760-0050 高松市亀井町1-3	FAX 087-862-0314
"	平田栄司	(社)日本土木工業協会 四国支部 副支部長	TEL 087-851-6969
		〒760-0026 高松市磨屋町6-4	FAX 087-851-3176
		西松建設(株) 四国支店 常務執行役員支店長	TEL 087-831-1471
		〒760-0017 高松市番町3-8-11	FAX 087-837-3034
"	矢部徹	(社)日本土木工業協会 四国支部 幹事	TEL 087-851-6969
		〒760-0026 高松市磨屋町6-4	FAX 087-851-3176
		清水建設(株) 四国支店 執行役員支店長	TEL 087-839-4300
		〒760-0023 高松市寿町2-4-5	FAX 087-822-6614
"	江隅幸治	(社)日本土木工業協会 四国支部 幹事	TEL 087-851-6969
		〒760-0026 高松市磨屋町6-4	FAX 087-851-3176
		(株)奥村組 四国支店 執行役員支店長	TEL 087-851-9008
		〒760-0020 高松市錦町1-8-41	FAX 087-822-9286
"	井上雄次	(社)日本土木工業協会 四国支部 幹事	TEL 087-851-6969
		〒760-0026 高松市磨屋町6-4	FAX 087-851-3176
		(株)大林組 四国支店 執行役員支店長	TEL 087-836-3111
		〒760-0007 高松市中央町11-11	FAX 087-837-7125
"	森田紘一	(社)香川県建設業協会 会長	TEL 087-851-7919
		〒760-0026 高松市磨屋町6-4	FAX 087-821-4079
支部監事	穴吹敏範	(株)四電技術コンサルタント 土木技術部長	TEL 087-851-1183
		〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	FAX 087-821-6930
"	安藤幹也	西日本高速道路(株) 四国支社 建設事業部技術審査役	TEL 087-825-1894
		〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	FAX 087-823-3636
幹事長	鈴木壽	徳島大学 大学院シオテクノロジー研究部 エコシステムデザイン部門 准教授	TEL 088-656-7347
		〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	FAX 088-656-7347
事務局長	蔣景彩	徳島大学 大学院シオテクノロジー研究部 エコシステムデザイン部門 准教授	TEL 088-656-7346
		〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	FAX 088-656-7346
事務局員	中島淳子	愛媛大学 工学部環境建設工学科	TEL 089-927-9817
		〒790-8577 松山市文京町3	FAX 089-927-9817
幹事	岡村未対	愛媛大学 大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 准教授	TEL 089-927-9820
		〒790-8577 松山市文京町3	FAX 089-927-9820
"	山中稔	香川大学 工学部安全システム建設工学科 准教授	TEL 087-864-2158
		〒761-0396 高松市林町2217-20	FAX 087-864-2188
"	向谷光彦	高松工業高等専門学校 建設環境工学科 准教授	TEL 087-869-3921
		〒761-8058 高松市勅使町355	FAX 087-869-3929
"	岡林宏二郎	高知工業高等専門学校 建設システム工学科 准教授	TEL 088-864-5589
		〒783-8508 南国市物部乙200-1	FAX 088-864-5589

幹事	香川泰良	国土交通省 四国地方整備局 企画部技術企画官	TEL 087-851-8061
		〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	FAX 087-851-8044
"	松尾義文	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部海洋環境・技術課長	TEL 087-851-8061
		〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎8F	FAX 087-811-8431
"	瀬尾守	徳島県県土整備部技術課長補佐	TEL 088-621-2620
		〒770-8570 徳島市万代町1-1	FAX 088-621-2864
"	川江秀樹	香川県 土木部技術企画課課長補佐(総括)	TEL 087-831-1111
		〒760-8570 高松市番町4-1-10	FAX 087-834-5374
"	樋口志朗	愛媛県 土木部管理局土木管理課技術企画室技術室長補佐	TEL 089-912-2647
		〒790-8570 松山市一番町4-4-2	FAX 089-945-0282
"	夕部雅丈	高知県 土木部建設検査課課長	TEL 088-823-9825
		〒780-0837 高知市丸ノ内2-1-19	FAX 088-823-9263
"	舟橋弘師	(独)水資源機構吉野川局 施設管理課長	TEL 087-835-6600
		〒760-0018 高松市天神町10-1	FAX 087-835-6605
"	前浩久	西日本高速道路(株) 四国支社 総務企画部企画調整グループリーダー	TEL 087-825-1895
		〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	FAX 087-823-3636
"	杉本達弘	四国電力(株) 土木建築部土木技術グループ副リーダー	TEL 087-821-5061
		〒760-8573 高松市丸の内2-5	FAX 087-821-3177
"	久保慶徳	(株)四電技術コンサルタント 地質部長	TEL 087-887-2290
		〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	FAX 087-887-2205
"	石井秀明	(株)ナイバ 常務取締役	TEL 087-862-5121
		〒760-0062 高松市塩上町1-3-6	FAX 087-862-5120
"	白川幸男	大成建設(株) 四国支店参与	TEL 087-825-3413
		〒760-0019 高松市サンポート2-1	FAX 087-825-3443
(徳島県)地域幹事	井上清敬	国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所調査課長	TEL 088-654-9611
		〒770-0803 徳島市上吉野町3-35	FAX 088-654-9643
"	山下学	国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所企画調整課長	TEL 0885-32-3357
		〒773-0001 小松島市小松島町字新港9-3	FAX 0885-32-1125
"	久保井泰博	西日本高速道路(株) 四国支社徳島工事事務所工務課長	TEL 088-626-2021
		〒770-0861 徳島市住吉5-1-30	FAX 088-626-5691
"	安芸浩資	ニタコンサルタント(株) 環境防災部課長	TEL 088-665-5550
		〒771-0122 徳島市川内町鈴江西38-2	FAX 088-665-0115
"	小田桐七郎	四国建設コンサルタント(株) 技術二部地質調査課長	TEL 088-683-3393
		〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地3番地1	FAX 088-683-3563
"	田中敏彦	応用地質(株) 徳島支店支店長	TEL 088-653-0125
		〒770-0811 徳島市東吉野町3-8-1	FAX 088-653-0124
"	中木一文	(株)基礎建設コンサルタント 代表取締役	TEL 088-642-5330
		〒779-3120 徳島市国府町南岩延880-2	FAX 088-642-4216
(高知県)地域幹事	弘田淳一	国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所調査課長	TEL 088-832-0779
		〒780-8023 高知市六泉寺町96-7	FAX 088-833-5357
"	篠原真三	国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所企画調整課長	TEL 088-847-3512
		〒781-0113 高知市種崎874	FAX 088-837-3001
"	小野寺哲	高知市 都市整備部	TEL 088-822-8111
		〒780-8571 高知市本町5-1-45	FAX 088-823-9038
"	山本静男	応用地質(株) 高知支店長	TEL 088-833-8811
		〒780-8010 高知市棧橋通4-16-42 日電工高知ビル2F	FAX 088-832-9501
(高知県)地域幹事	中村和弘	(株)相愛 常務取締役	TEL 088-846-6700
		〒780-0002 高知市重倉266-2	FAX 088-846-6711
"	明坂宣行	(株)第一コンサルタンツ	TEL 088-884-1330
		〒780-8122 高知市高須新町3-1-5	FAX 088-884-3783
"	岡崎健一郎	(株)轟組 業務監査部長	TEL 088-834-1011
		〒780-8077 高知市萩町1丁目5番13号	FAX 088-834-1021
(愛媛県)地域幹事	小林範之	愛媛大学 農学部利水環境工学研究室 准教授	TEL 089-946-9929
		〒790-0905 松山市樽味3-5-7	FAX 089-946-9929
"	亀岡知弘	国土交通省 四国地方整備局 松山港湾・空港工事事務所企画調整課長	TEL 089-951-0161
		〒791-8058 松山市海岸通2426-1	FAX 089-946-8010

地域幹事	篠原俊憲	カナン地質(株) 取締役会長 〒791-1114 松山市井門町392-3	TEL 089-958-0071 FAX 089-958-0151
〃	小西富士彦	(株)シアテック 営業部長 〒792-0003 新居浜市新田町3-1-39	TEL 0897-37-2796 FAX 0897-32-5979
(香川県) 地域幹事	林裕之	(株)奥村組四国支店 土木部長 〒760-0020 高松市錦町1-8-41	TEL 087-851-9008 FAX 087-821-1314
〃	田村彰三	田村ボーリング(株) 常務取締役 〒760-0007 高松市中央町6-19-21	TEL 087-833-7878 FAX 087-834-4795
〃	大宮末廣	応用地質(株)高松支店 支店長 〒760-0020 高松市錦町1-6-8	TEL 087-822-6696 FAX 087-821-0476
〃	松木一彰	復建調査設計(株)高松支社 地盤技術課長 〒760-0020 高松市錦町1-4-40	TEL 087-826-1913 FAX 087-826-1917
〃	富田直人	(株)豊和開発 坂出事務所 新事業室長 〒762-0011 坂出市江尻町1571-1	TEL 0877-46-5900 FAX 0877-46-6133
〃	植田昌宏	(株)チェリーコンサルタント 調査環境部長 〒760-0037 高松市栗林町3-7-23	TEL 087-834-5111 FAX 087-831-3962

第4号議案 平成20年度 支部事業計画（報告）

平成20年度 支部事業計画

1. 総会、役員会等

(1) 総 会

平成20年4月18日(金) 16:00~17:00 高松市(高松テルサ)

- ① 表彰(特別会員表彰, 四国支部賞表彰)
- ② 平成19年度 支部事業報告
- ③ 平成19年度 支部収支決算報告, 監査報告
- ④ 平成20年度 支部役員
- ⑤ 平成20年度 支部事業計画(報告)
- ⑥ 平成20年度 支部収支予算(報告)

(2) 評議員会

第1回 平成20年4月18日(金) 14:30~15:30 高松市(高松テルサ)

- ① 平成19年度 支部事業報告
- ② 平成19年度 支部収支決算報告
- ③ 平成19年度四国支部賞受賞者
- ④ 監査報告
- ⑤ 平成20年度 支部役員(案)
- ⑥ 平成20年度 支部事業計画
- ⑦ 平成20年度 支部収支予算
- ⑧ その他

第2回 平成21年2月

- ① 平成20年度 支部事業報告
- ② 平成20年度 支部決算見込み報告
- ③ 平成21年度 支部役員(案)
- ④ 平成21年度 支部事業計画
- ⑤ 平成21年度 支部収支予算
- ⑥ その他

(3) 幹事会

必要に応じて開催

2. 支部主催事業

(1) 講習会（本部主催）

日程：平成20年10月

場所：高松市

内容：設計用地盤定数の決め方―土質編―

(2) 平成20年度地盤工学会四国支部技術研究発表会

日時：平成20年9月26日 13:00～17:00

平成20年9月27日 10:00～15:00

場所：村上水軍博物館講座室（愛媛県今治市宮窪町宮窪1285, TEL: 0897-84-4192）

（今治市の沖にある来島大橋でつながった歴史の島、大島に位置しています。戦国時代、瀬戸内海を自在に駆けめぐった能島村上家伝来の貴重な品々の展示や、水軍の歴史・文化の研究、啓発並びに各種の体験も出来る参加体験型の博物館です。）

定員：100名

研究発表会参加費：3,000円

懇親会・宿泊先：いけす料理・海宿 千年松（愛媛県今治市吉海町名駒25, TEL: 0897-84-4192）

懇親会日時：平成20年9月26日 18:00～21:00

懇親会会費：10,500円（予定）

(3) 見学会

日程：平成20年9月

場所：愛媛県

(4) 学術講演会（土木学会と共催、土木学会担当）

日程：未定

場所：未定

(5) 道路防災点検講習会

日時：平成20年6月

場所：高知市内

内容：「道路防災点検の手引き（豪雨・豪雪等）」（道路保全技術センター，平成19年9月）
をテキストとした講習会

3. 各県地盤工学会

(1) 徳島県地盤工学会

- 1) 第1回徳島県地盤工学特別講演会
日程：平成20年8月上旬予定
場所：徳島大学工学部内予定
- 2) 地盤と環境に関するシンポジウム
日程：平成20年9月中旬予定
場所：徳島大学工学部内予定
- 3) 第2回徳島県地盤工学特別講演会
日程：平成20年11月下旬予定
場所：徳島大学工学部内予定

(2) 香川県地盤工学会

- 1) 第1回学術講演会
日程：平成20年9月
場所：高松市
- 2) 第2回学術講演会
日程：平成21年1月
場所：高松市
- 3) 技術交流会
日程：平成21年2月，3月
場所：高松高専

(3) 高知県地盤工学会

- 1) 第26回高知県地盤工学会
日程：平成20年6月
場所：高知県
- 2) 第27回高知県地盤工学会
日程：平成20年12月
場所：高知県

(4) 愛媛県地盤工学会

1) 第8回四国の地盤災害・地盤環境に関するシンポジウム

日程：平成20年6月5日(木) 10:00～6日(金) 12:00

場所：愛媛大学総合情報メディアセンター・メディアホール(松山市)

2) 地盤災害出前講座

日程：10月～2月

場所：愛媛県内

4. 支部委員会

(1) 四国支部50周年記念事業実行委員会

日程：平成20年5月もしくは6月

場所：未定

(2) 四国地域地盤問題研究委員会

1) 第4回研究委員会

日程：平成20年5月予定

場所：未定

2) 第5回研究委員会

日程：平成20年11月予定

場所：未定

(3) 落石対策研究会

1) 第4回研究会

日時：平成20年5月27日(火) 13:00～17:00

場所：高知市

内容：ロングスパンポケット式落石防護網の重錘衝突実験(公開実験)

落石対策マニュアルの1次原案について

2) 第5回研究会

日時：平成20年7月22日(火) 13:00～17:00

場所：愛媛大学

内容：落石対策マニュアルの2次原案について

3) 第6回研究会

日時：平成20年9月17日（水） 13：00～17：00

場所：愛媛大学

内容：落石対策マニュアルの3次(最終)原案について

4) 第7回研究会

日時：平成20年11月19日（水） 13：00～17：00

場所：愛媛大学

内容：マニュアルゲラ刷りの校正

5) 第8回研究会(最終)

日時：平成21年4月22日（水） 13：00～17：00

場所：高松市

内容：マニュアルに関する講習会

第5号議案 平成20年度 支部収支予算（報告）

四国支部収支予算

一般会計

△は前年度予算額に対して減 (円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 収入の部				
1 事業収入	500,000	520,000	△ 20,000	
(1) 学術集会事業収入	500,000	520,000	△ 20,000	
1) 学術講演会収入	0	150,000	△ 150,000	
2) 見学会収入	20,000	20,000	0	
3) 技術研究発表会収入	330,000	200,000	130,000	
4) 本部主催講習会収入	150,000	150,000	0	
2 雑収入	184,000	150,000	34,000	
(1) 受取利息収入	4,000	200	3,800	
(2) 雑収入	180,000	149,800	30,200	
3 繰入金収入	1,800,000	1,960,000	△ 160,000	
(1) 本部交付金収入	1,800,000	1,960,000	△ 160,000	
当期収入合計(A)	2,484,000	2,630,000	△ 146,000	
前期繰越収支差額	2,634,000	2,474,474	159,526	
収入合計(B)	5,118,000	5,104,474	13,526	
II 支出の部				
1 事業費支出	1,270,000	1,270,000	0	
(1) 学術集会事業費支出	470,000	470,000	0	
1) 学術講演会費支出	100,000	100,000	0	
2) 見学会費支出	70,000	70,000	0	
3) 技術研究発表会費支出	300,000	300,000	0	
(2) その他事業費支出	800,000	800,000	0	
1) 研究会助成金支出	800,000	800,000	0	
2 管理費支出	1,510,000	1,360,000	150,000	
(1) 備人費支出	400,000	400,000	0	
(2) 会議費支出	100,000	150,000	△ 50,000	
(3) 旅費・交通費支出	280,000	280,000	0	
(4) 通信費支出	50,000	50,000	0	
(5) 印刷費製本費支出	80,000	80,000	0	
(6) H P 管理費支出	80,000	80,000	0	
(7) 雑支出	520,000	320,000	△ 100,000	
1) 雑支出	220,000	320,000	△ 100,000	
2) 平成19年度分消費税本部立替払支出	300,000	0	300,000	
3 繰入金支出	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
地盤工学振興基金支出	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
4 予備費支出	0	0	0	
当期支出合計(C)	4,780,000	3,630,000	1,150,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 2,296,000	△ 1,000,000	△ 1,296,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	338,000	1,474,474	△ 1,136,474	

四国支部収支予算

四国支部地盤工学振興基金特別会計

△は前年度予算額に対して減 (円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 収入の部				
1 雑収入	6,000	900	5,100	
(1) 受取利息収入	6,000	900	5,100	
2 繰入金収入	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
(1) 一般会計からの繰入金収入	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
当期収入合計(A)	2,006,000	1,000,900	1,005,100	
前期繰越収支差額	4,890,000	4,004,514	885,486	
収入合計(B)	6,896,000	5,005,414	1,890,586	
II 支出の部				
1 事業費支出	400,000	200,000	200,000	
(1) 自然災害の調査・研究事業費支出	100,000	100,000	0	
(2) 50周年記念事業支出	300,000	100,000	200,000	
当期支出合計(C)	400,000	200,000	200,000	
当期収支差額(A)-(C)	1,606,000	800,900	805,100	
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,496,000	4,805,414	1,690,586	

【参考資料】

①平成 20 年度以降の事業予定

②四国支部設立 50 周年記念事業

③四国支部規定等

- ・ 地盤工学会四国支部規程 (平成 19 年 5 月 11 日理事会承認)
- ・ 地盤工学振興基金規程 (平成 12 年 4 月 27 日理事会制定)
- ・ 地盤工学振興基金運用細則 (平成 12 年 4 月 20 日評議員会制定)
- ・ 地盤工学会四国支部特別表彰規定 (平成 20 年 1 月 8 日評議員会制定)
- ・ 地盤工学会四国支部年次表彰規程 (平成 20 年 1 月 8 日評議員会制定)
- ・ 地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程
(平成 20 年 1 月 8 日評議員会制定)
- ・ 旅費, 謝金等支払い内規 (平成 18 年 2 月 22 日評議員会了承)
- ・ 会計管理体制 (平成 12 年 9 月 25 日本部提出)
- ・ 各県地盤工学会研究会助成内規 (平成 17 年 4 月 15 日評議員会了承)

平成20年度以降の事業予定

- ・平成21年度に地盤工学会四国支部 創立50周年記念事業を実施予定
(現在、創立50周年記念事業準備検討委員会にて準備中)
- ・平成22年度に地盤工学会 全国大会を四国にて実施を計画

・事務局等の分担履歴

年度	事務局	技術研究 発表会	講習会	見学会	学術講演会	建設フェア	主要事業
H 2	愛媛大学			高知大学	土木学会		H.1・・・30周年(四国地建)
H 3	四国電力	愛媛大学					
H 4	高知大学	徳島大学	四国電力		土木学会		全国大会(高知大学)
H 5	香川大学	高知大学					
H 6	徳島大学				土木学会		
H 7	香川大学	愛媛大学					
H 8	JH四国	徳島大学			土木学会		
H 9	愛媛大学						
H10	四国地建	高知大学			土木学会		IS-Shikoku(愛媛大学)
H11	四国電力	四国電力	四国電力		四国電力	愛媛大学	40周年(四国地建)
H12	高知大学	愛媛大学	JH四国	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H13	香川大学	高知大学	四電、香川大	高知大学	愛媛大学	徳島大学	全国大会(徳島大学)
H14	徳島大学	徳島大学	四国地整	徳島大学	土木学会	香川大学	
H15	JH四国	香川大学	JH四国	香川大学	高知高専	愛媛大学	土木学会全国大会(徳島大学)
H16	愛媛大学	愛媛大学	香川大、四電	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H17	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学		
H18	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会		
H19	香川大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学		
H20	徳島大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会		
H21							50周年記念事業
H22							全国大会

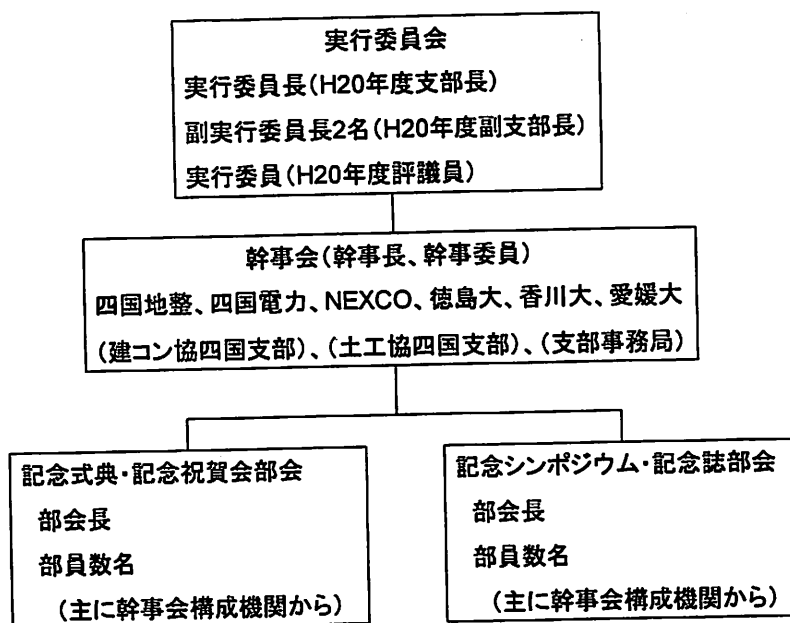
地盤工学会四国支部50周年記念事業の実施に向けて

地盤工学会四国支部創立 昭和34年9月29日 (1959年)
50周年 平成21年9月29日 (2009年)

準備の経緯

平成18年6月29日 幹事会で準備検討委員会について討議
平成19年6月14日 幹事会で準備検討委員会の立ち上げを承認
(委員長：矢田部龍一、委員：長谷川修一、香川泰良、竹本勝典、鈴木壽)
(活動期間：実行委員会の立ち上げまで)
平成19年9月11日 第1回準備検討委員会開催
平成19年11月27日 第1回評議員会で実施体制案、実施事業案、今後の予定案について審議・了承

実施体制



50周年記念実施事業(案)

- ・記念シンポジウム 「四国における東南海・南海地震研究と対策の最前線」(仮)
 - 日時 平成21年9月25日(金) 13時30分～15時30分
 - 会場 サンポートホール高松小ホール(300名収容)
- ・記念式典
 - 日時 平成21年9月25日(金) 16時00分～17時30分
 - 会場 サンポートホール高松小ホール(300名収容)
- ・記念祝賀会
 - 日時 平成21年9月25日(金) 18時00分～20時00分
 - 会場 全日空ホテルクレメント高松
- ・記念誌出版
「50年の歩み」

社団法人 地盤工学会四国支部規程

昭和34年9月29日制定
昭和43年7月19日一部改正
平成 3年6月 6日一部改正
平成 9年4月22日一部改正
平成11年6月29日一部改正
平成19年4月17日一部改正

- 第1条 社団法人地盤工学会定款第3条に基づき、支部を置き、社団法人地盤工学会四国支部という。
- 第2条 社団法人地盤工学会四国支部（以下支部という）は、徳島県、香川県、愛媛県、高知県に在住する会員をもって組織する。
- 第3条 支部は、この学会の目的を達成するための事業のうち、支部に関するものを行う。
- 第4条 支部に次の役員を置く。
支部長 1名 副支部長 3名 評議員 若干名
支部監事 2名 幹事 若干名（内1名を幹事長とする。）
- 第5条 支部の事務局は、原則として支部長の勤務する職場内に置く。
- 第6条 支部は、地盤工学会定款第21条及び選挙規則第6条、8条により、支部代議員候補者の選考を行なう。
- 第7条 次期の支部長、副支部長、評議員、支部監事および幹事は、評議員会が支部内の会員の中から推薦し、総会において承認を得る。ただし、任期中に欠員が生じた場合には、次期総会までの残任期間中にかぎり、評議員会においてその後任者をきめることができる。
- 第8条 役員の任期は1年とし、総会から次の総会までとする。ただし、役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、その職務を行う。
- 第9条 支部長は支部を代表し、その会務を総理する。副支部長は、支部長を補佐し、支部長が事故あるときは、その職務を代行する。
評議員は、支部に関する重要事項を評議する。
支部監事は、支部に関する会計および支部役員の業務執行状況等を監査し、その結果を評議員会に連絡する。
幹事は、支部に関する事務を処理し、幹事長はこれを総括する。
- 第10条 支部に顧問若干名をおくことができる。顧問は役員の諮問に応じる。顧問は、幹事会、評議員会で推薦し、支部長が委嘱する。
- 第11条 支部の会議は総会、評議員会、幹事会とする。総会は毎年1回、会計年度終了後1ヶ月以内に招集し、臨時総会、評議員会は支部長が必要と認めたときに召集する。
幹事会は、幹事長が必要と認めたときに支部長の承認を得て召集する。
- 第12条 総会は、四国地区在住会員現在数の20分の1以上、評議員会は評議員現在数の過半数の出席によって成立する。当該議事につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は出席者とみなす。
- 第13条 総会、評議員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、支部規程の変更に関しては出席者の3分の2以上の同意を必要とする。
- 第14条 支部の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第15条 支部の経費は、交付金、寄付金およびその他の収入をもってあてる。
- 第16条 支部事業計画および収支予算は会計年度開始1ヶ月前までに評議員会が議決し、支部長は直ちに会長に届け出る。事業報告及び収支決算報告は評議員会の議決を経て総会の承認を受ける。
支部長は、会計年度終了後1ヶ月以内に事業報告および収支決算報告を会長に届け出る。
評議員会が議決した事業計画および収支予算は総会に報告する。
- 第17条 支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者に対して、支部は別途定める規程に基づき表彰することができる。
- 第18条 この規程を改廃しようとするときは、総会の議決を経、かつ、理事会の承認を得なければならない。

付 則

この規定は、理事会承認の日から施行する。

社団法人 地盤工学会
四国支部地盤工学会振興基金規程

平成12年4月27日理事会制定

- 第1条 この基金は、四国支部地盤工学会振興基金（以下「基金」という）と称し、社団法人地盤工学会四国支部経理に属する。
- 第2条 この基金は、次のいずれかの目的に合致する有意義な事業を四国支部が主体的に行い、もって地盤工学の振興と発展を図ることを目的とする。
- (1) 四国地方における自然災害の調査、研究
 - (2) 四国地区において特別に実施される地盤工学に関する学術的事業
 - (3) 四国支部の特別事業
- 第3条 この基金は、四国支部一般会計からの繰入、ならびに本会会員および広く地盤工学会の活動に理解を示す者の寄附をもって充当する。
2. 寄附は、寄附者の意志を尊重したうえで四国支部評議員会の承認を経てこの基金に組み入れるものとする。
- 第4条 この基金の運用について四国支部評議員会は、必要に応じ細則・内規等を定めることができる。
- 第5条 この基金は、特別会計とし、銀行預金等として運用する。
2. この基金の管理は支部長が行う。
- 第6条 この基金を、第2条に規定する事業目的以外には使用しない。やむなく事業目的以外に使用する場合は、四国支部評議員会の審議を経て、理事会の承認を得なければならない。
- 第7条 この規程は、四国支部評議員会の議決を経て、理事会の承認を得て制定する。
2. この規程は、四国支部評議員会の議決を経て、理事会の承認を得て変更することができる。
 3. 変更後の規程は理事会承認の日から実施する。
- 第8条 この規程は平成12年5月30日から実施する。

社団法人 地盤工学会
四国支部地盤工学会振興基金運用細則

平成12年4月20日四国支部評議員会制定

- 第1条 この細則は、「四国支部地盤工学会振興基金規程」第4条に基づき、その必要事項を定める。
- 第2条 この基金の運用にあたっては、次のいずれかを満足するとき、支部長は四国支部評議員会を召集し、出席者の半数以上の賛成により運用を決定する。
- 1) 支部長が必要と認めたとき。
 - 2) 四国支部幹事会において出席者の半数以上の幹事の賛成が得られたとき。
- 第3条 この基金の運用により得られた成果は、支部長に報告するものとし、支部長の要請がある場合には印刷物その他の方法をもって広く社会に公開する。
- 第4条 この基金の運用にあたっては、事業の責任者を明確にし、責任者により任命された会計責任者は当該年度の必要時期までに会計報告を支部長に行うものとする。
- 第5条 責任者は、基金の運用その他の事項に関する説明を評議員会において行い、その了承を得る。
- 第6条 この細則は、四国支部評議員会の議決を経て変更することができる。この場合は、理事会に報告するものとする。
2. 変更後の細則は四国支部評議員会の議決の日から実施する。
- 第7条 この細則は平成12年5月30日から実施する。

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部（以下「支部」という）規程第17条に基づき、支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者を表彰するために定めたものである。

(対象)

第2条 表彰は、表彰授与当該年度を除く過去10会計年度における以下に掲げる功績を対象とする。但し、同一の事項について、本部表彰の履歴のある者は対象外とする。

(功労賞)

第3条 功労賞は、支部の発展及び支部並びに本部の主催する重要な行事の実施にあたり、顕著な貢献をしたと認められる者に授与するものとする。

(技術開発賞)

第4条 技術開発賞は、地盤工学における新技術の開発及びその実用化等で顕著な貢献をし、地盤工学の発展を通じて社会に貢献したと認められる者に授与するものとする。

(技術功労賞)

第5条 技術功労賞は、長年にわたり人目に付きにくい業務に従事し、地道な実務の積み重ねを通じて地盤工学の進歩発展に功労があった者に授与するものとする。

(賞の授与年度)

第6条 賞は、10年に一度、支部発足10年毎の節目の年度に授与するものとする。

(選考委員会及び賞の決定方法)

第7条 賞選考委員会（以下「委員会」という）において賞を選考する。

第8条 委員会は、支部の10周年毎の記念事業実行委員会委員（以下「実行委員会」という）で構成される。

2. 委員会の長は、実行委員長が兼任する。

3. 実行委員会を設けない場合の委員会委員は、支部役員の中から5人以内で支部長が委員を選定し、委嘱する。

第9条 賞の受賞候補者は、支部役員が委員会に推薦理由を付して推薦し、委員会で決定するものとする。

(表彰の時期及び表彰方法)

第10条 表彰は、支部の10周年毎の記念行事（以下「記念行事」という）の席において賞状及び副賞を授与して行う。

2. 記念行事を行わない場合は、10周年毎の当該年度内において、支部長の指定する日に表彰式を行うものとする。

(附則)

この規程は、平成20年1月8日より施行する。

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部(以下「支部」という)規程第17条に基づき、地盤工学の学術並びに技術の発展と学会支部活動の活性化に寄与した優れた業績を表彰するために定めたものである。

(表彰対象)

第2条 表彰は「地盤工学会四国支部賞(以下、四国支部賞という)」を授与して行う。四国支部賞は、原則として四国支部の会員による次のいずれかに該当する業績を対象として、個人(複数可)または団体に授与する。

(1) 技術賞

四国地域で実施され、四国支部における技術研究発表会等で発表された調査、設計及び施工等の個別技術に係る業績

(2) 技術開発賞

活用性、汎用性に優れた技術の開発及び実用化等

(3) 研究・論文賞

四国支部および各県の地盤工学研究会で発表された創造性、特殊性が活かされた学術的に優れた研究論文及び研究報告等

(4) 功績賞

① 地盤工学会四国支部の活動に永年従事し、学会の進歩、発展、運営に顕著な貢献をしたと認められる業績等

② 地盤工学会四国支部関係技術者の育成及び技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績等

③ 地盤工学会四国支部の広報ならびに社会的地位向上に貢献をしたと認められる業績等

第3条 四国支部賞は第2条の各項目の名称を「四国支部賞(賞名)」と称する。各部門について該当者のいない場合には授与を見送る。

第4条 受賞者は原則として四国支部に所属する会員または特別会員とする。

(表彰委員会)

第5条 四国支部賞を選考する表彰委員会(以下「委員会」という)を設置する。

第6条 委員会は委員長、幹事1名、委員4名とする。

第7条 委員長は支部長とする。

第8条 幹事、委員は委員長が選任する。

(応募)

第9条 四国支部賞の応募は別途定める「応募推薦要領」による。

(審査及び決定)

第10条 応募業績の審査及び受賞業績の決定は委員会で行う。

(表彰)

第11条 総会において支部長が賞状を授与する。

(附則)

第12条 この規程は、平成20年1月8日より施行する。

地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程

平成11年4月21日制定

平成20年1月8日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学に係る技術の発展及び技術者の意識向上を図ることを目的として、地盤工学会四国支部規程第17条に基づき、支部主催の技術研究発表会における優秀論文の口頭発表者を優秀発表賞（以下「賞」という）として表彰するために定めたものである。

(選考及び賞の決定方法)

第2条 賞を選考するために、3名以上の採点委員で以下に掲げる項目について採点を行い、採点結果をもとに論文審査委員会が選考を行うものとする。

2. 採点項目は以下のとおりとする。なお、採点項目は、論文審査委員会が変更することができる。

(1) 発表内容、(2) 発表技術、(3) 発表時間、(4) 質疑応答

(採点委員および論文審査委員会)

第3条 採点委員は、論文審査委員会が指名する。

2. 論文審査委員会は、支部幹事長及び支部幹事の5名で構成する。

(表彰方法)

第4条 表彰は、支部長が行う。

2. 表彰を行うにあたっては、賞状を授与することができる。

(附則)

この規程は、平成20年1月8日より施行する。

地盤工学会四国支部旅費、謝金等支払い内規

1. 謝金：本部内規に準じて支給する（平成10年11月30日理事会暫定改正）
（ ）はH10年度

項目	支給単位	支給額
講師料	講演時間60分まで10分ごとに	2,500 円
	講演時間60分を越え10分増すごとに	2,000 円
	（講演時間 1 時間あたり ）	(14,000 円)
特別講師	講演時間60分まで	15,000 円
	講演時間60分を越え30分増すごとに	10,000 円
	（講演時間1時間あたり ）	(30,000 円)
原稿料	会誌1ページ相当 （ワープロ仕上げ）	2,500 円
	講習会テキスト書き下ろし原稿用紙1枚	(2,400 円) 920 円
アルバイト	1日あたり	7,000 円
		(同 上)
	1時間当たり	900 円
		(同 上)

2. 旅費：本部旅費支給規程(H15.12.19改正に準じる)

・原則として要求がある場合に支給する。

① 交通費

- ・タクシー等自動車を利用した車賃は支給しない。
ただし、特別な事情でやむを得ず自動車を利用した場合の車賃は実費額とする。
- ・勤務個所および会場から最寄りのJR駅まで、JR以外の交通機関を利用する場合の運賃は一律1,000円とする。
- ・航空機利用の場合は航空運賃を支給する。この場合、空港の最寄りのJR駅から空港までの交通機関利用料金一律1,000円、東京空港と会場最寄駅までの交通機関利用料金一律1,000円とする。
- ・主な地域からの例（通常期の場合、繁忙期、閑散期は別途考慮）
高松での幹事会等への出席
 - ・高松市内から 2,000円（市内交通費）
 - ・高松市外から 3,000円

②日 当：1,800円（片道120km以上の場合）

③宿泊費：9,000円（実費がこれ以上の場合は別途協議）

ただし、上記内容が所属機関の旅費規程等と相違があり、申し出があった場合は所属機関の規程から算出した金額を支給する。

（平成18年2月22日評議員会承認）

地盤工学会四国支部会計管理体制〔留意事項〕

1. 支部交付金は支部が開設した専用口座を設けて対応する。
2. 支部会計の通帳および現金を保管する場所は、関係者以外は自由には出入りできない
旋錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは旋錠できる什器内とする。
3. 通帳と印鑑、カードは別々に保管する。
4. 通帳には印を押さない。もしくは押さないようにしてもらう。
5. カードには暗証番号を付記しない。
6. カードは原則、支部会計責任者が保持し、保管する場合には前記、通帳・現金の保管場
所と同様、関係者以外は自由には出入りできない施錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは
施錠できる什器内とする。
7. 支部会計責任者は定期的に口座の残金を確認する。

(平成12年9月25日本部提出書類より)

各県地盤工学会助成内規

1. 助成方法

各県地盤工学会の事業を行う費用の一部を負担する。負担額は各年度の事業計画に
計上する。

2. 用途

助成金は、各県地盤工学会が地盤工学会員に対して事業を行うための費用にすること
ができる。

3. 報告

各地盤工学会は、地盤工学会四国支部に事業内容の報告を会計年度中に行う。

(平成17年4月15日評議員会承認)